

利島村

〒100-0301 東京都利島村2 4 8 番地
電話：04992-9-0011
HP：<https://www.toshimamura.org/>






利島村の概要

利島村は、東京から南へ約140kmに位置する円錐形の島です。東京都で最も小さな面積の4.04km²の小さな島で、約300人が生活しています。人口は半世紀ほど維持しており、最近では移住者が人口の6割超で、人口の5割を占める20代～40代では8割が移住者となっています。




最新の動向として、島ならではの環境を生かした教育改革や屋内型の子供の遊び場整備など子育てしやすい島づくりを推進しています。

生活環境

● 交通

-  大型船 9時間 (東京竹芝港→利島港)
 -  高速船 2.5時間 (東京竹芝港→利島港)
 -  ヘリ 10分 (大島空港→利島ヘリポート)
- 天候等の要因を除き、毎日就航しています。


● 子育て

-  教育 1校 (9年制の義務教育学校)
-  未就学児 1園 (1歳～)
-  教材費、給食費、海外ホームステイ費、習い事等 **無料** (詳細は別紙参照)

● 医療


-  診療所 1軒 (医師1名、看護師2名)

● 買い物


-  コンビニ 0軒 (商店数軒)

野菜、食料品は農協で買い物をするのが一般的です。
生活用品はインターネット通販を利用して購入している方もいます。

● 住まい

-  職員住宅へ入居 (単身・世帯用)
- 住宅は役場が手配します。
家賃は月額8,000円～20,000円です。

● 手当

-  地域手当 16% (支給割合最大値)
- その他諸手当有

勤務条件

■勤務時間

8：15～17：00（休憩1h）

■休日・休暇

完全週休2日制（土日祝日）
年次有給休暇20日／夏季休暇5日／
慶弔休暇／結婚休暇／育児休業／
産前・産後休暇／介護休暇 など

■充実した制度

結婚祝金／出産助成金／
高校生まで医療費無料／
小中学生の教材費・給食費等無料

■初任給 ※残業代は全額支給

職種	学歴	基本給
一般 行政職	大学卒	232,000円
	短大卒	216,500円
	高卒	200,300円

■待遇

昇給1回／賞与2回（4.60ヶ月分）
共済年金／医療保険制度／退職金制
度／職員住宅完備

■諸手当

地域手当（16%）／
扶養手当／時間外手当 など

採用までの流れ

書類応募

①
書類審査

②
1次面接
WEB

③
2次面接
現地

採用

数字でみる利島村役場

職員数（R7.4現在）

27人

平均年齢

41歳

年休取得日数

15日

時間外勤務
（R6年度）

月平均 **13**時間

育休取得率
（配偶者含む）

R5 - 7 **100**%

島外出身者割合
（移住者割合）

97%

若手職員の日

理想のワークライフバランスに近い環境

小林 央昂

R6.7入庁
住民課主事



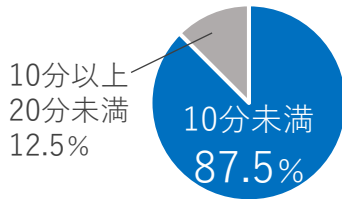
理想のワークライフバランスに近く、入庁を志しました。移住前は昭和の香りが残る営業職に就き、やりがいに満ちていたこともあり、事務中心の仕事に充実感を感じられるか少し不安でした。しかし、必要知識の勉強を通して成長を感じたり、補助金や助成金等で資金を集めることで村や住民の役に立てた実感があり、前職とは異なるやりがいのある日々を送っています。

まずは一度、利島に住む方々と話してみてください。きっと理想の生活が見つかると思います。

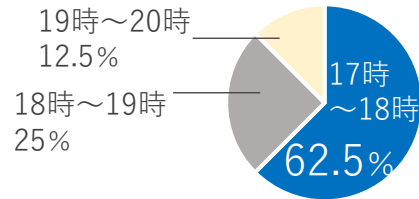
7:00	起床	▶	情報番組を観ながら朝食をとり、徒歩か車で役場に向かいます。満員電車で揺られる日々には戻れそうもありません。
8:10	登庁	▶	メールチェック後に自分の一日の業務内容をイメージしてToDoリストを簡単に作ります。
9:00	資源ごみ分別	▶	課を飛び越えて役場職員全体で協力して分別作業を行います。各住民の環境保全意識が高いと驚いています。
11:00	へり運航支援	▶	利島村にとって大切な運航手段に携わる業務です。責任も大きいですが住民や観光客など色々な方と交流できて面白いです。
12:30	昼食	▶	徒歩4分の家に戻って妻と一緒にテレビを観ながらお昼を食べます。番組内で紹介される観光スポットやグルメ情報を参考に今後の旅行計画を練ります。
13:30	窓口対応	▶	住民票の発行やマイナンバーカード関連の対応をします。法改正などにより日々情報が更新されますが、業務はマニュアル化しており、安心して対応ができます。
14:30	提出物作成	▶	補助金の申請や実績報告、国や都からの調査依頼に対応します。過去のデータは明確に整理されており、上司に相談し易い環境もあり心強いです。
16:30	ToDoリスト整理	▶	朝に作成したToDoリストを確認し、翌日以降の業務も整理して期限に余裕を持った状態で業務に臨めるようにします。
17:00	退庁	▶	今のところ残業をすることは殆どありません。自分のペースで仕事ができます。
18:30	夕食	▶	退庁後は妻が経営する民宿の簡単な手伝いをします（盛り付けや配膳等）。支度が終わると民宿クオリティの手作り料理を毎日食べられるので健康的かつ幸せな食卓です。
19:30	同好会活動	▶	所属するフットサル同好会の活動を体育館で行います。運動強度も丁度よくいい汗をかいています。普段の業務では会わない方々とも交流できるので楽しいです。
23:00	就寝	▶	移住前は日付を跨いでから眠ることが当たり前だったので、移住後は健康的な生活リズムになっています。

若手職員アンケート（R8年度）

Q 通勤時間（選択式）



Q 平日の帰宅時間（選択式）



Q 利島村の魅力は？

- ・自然が多い
- ・移住者に対して村全体がもつウェルカムな雰囲気
- ・通勤ストレスがなく、家族と多くの時間を過ごせる
- ・村のことを自分事として感じられる

Q 利島村の悪いところは？

- ・天候次第で出島や帰島ができないことがある
- ・冷凍食品のネット購入ができない
- ・社会の縮図で色々な人がいる。正直苦手だなと思う人とも関わらないわけにはいかない。

Q 利島村に決めた理由は？

- ・もう一度暮らしたいと思った
- ・仕事と家庭の両立がしやすく、時間、気持ち、金銭面など様々な要素で豊かに暮らせそうと思った
- ・子育て環境の良さと仕事のやりがい

Q 利島村で働くために必要なことは？

- ・仕事と生活を完全に切り分けることが難しいので、その点を許容できる心。
- ・事前の情報収集を通じて、島暮らしについてギャップのない状態を作ること
- ・毎日PCと向き合うので苦手だと大変
- ・基本的なコミュニケーション能力

Q 働いて感じたギャップは？（いい意味で）

- ・課を超えて行う行事があり、職務を通じて、他課と交流する機会がある
- ・個人がうけもつ業務範囲が幅広いので、得られる知識や経験が多くある
- ・同世代の職員も多く安心できる職場

Q 休日は何をして過ごしていますか？

- ・サークルに参加、家でゆっくり過ごす
- ・子供の習い事、海、散歩
- ・午前ボランティアで子供たちにサッカーを教え、午後は椿山での農作業
- ・子供の遊びに全力を注ぐ

Q 利島村の採用試験へのエントリーを考えている方へのメッセージをお願いします

- ・皆さんと一緒に利島村を盛り上げることができると嬉しいです。
- ・気負い過ぎず、頑張ってください
- ・利島村の雰囲気を肌で味わい、ライフワークバランスを含めて、自分の理想に近い暮らしをしている人を見つけ、話を聞いてみることをオススメします。
- ・移住者も多く、分からないことは先輩や同期に相談しながら仕事ができる環境です。島での暮らし、未経験職種への挑戦は不安があると思いますが、困ったときには先輩移住者を頼ってください。
- ・住んでみると意外と不自由なく、これはこれでいいかもと思える場所だと思います。

子育て支援制度等

	結婚祝い金	5万円		習い事	無料
	出産助成金	50万円/人		部活動遠征費	無料
	教材費・ 給食費	無料		修学旅行・ 島外学習旅行費	無料
	高校生まで 医療費	無料		海外ホームステイ費	無料
	検 定	無料 (3回まで)		奨学資金貸付金	4~5万円/月
	学童クラブ	無料		離島高校生 就学支援費補助金	48万円/年

よくある質問

Q 年齢や出身地などは採用に影響がありますか？

A 年齢や出身地などは関係ありません。北海道、東北、関西圏など全国から移住した職員が活躍しています。

Q 民間企業からの転職者はいますか？
職歴は給料に反映されますか？

A 行政職員以外からの転職者がほとんどです。
職歴に応じて加算されます。（加算率は仕事内容や勤務形態による）

Q 離島への引っ越しは初めてなので、不安が多いです。

A 住宅は役場で手配します。また、引っ越し方法や家族連れでの引っ越しのご相談など可能な限りサポートします。（引っ越し費用補助有※上限有）

利島の様子



令和7年度完成



人材交流施設



屋内型子供の遊び場

ご応募お待ちしております。